

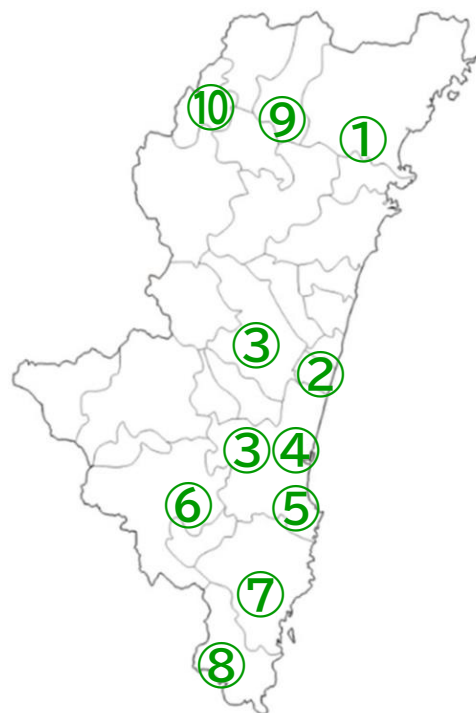
宮崎県内の 農業支援サービス取組事例集

令和8年3月
九州農政局宮崎県拠点

紹介事業者一覧

農業従事者の高齢化、担い手の不足等により、現行の農業生産方式の維持が困難となっていく中、農業現場では、スマート農業機械のリース・レンタルを行うサービス、ドローンを利用した防除作業の代行サービス、経営データの分析を行うサービス等、様々な農業支援サービスが展開されているところです。九州農政局宮崎県拠点では、県内の農業支援サービスの取組事例を集め、スマート農業の導入を後押しする事例集を作成しました。現場での活用に、ぜひお役立てください。

※本事例の中で紹介するサービス事業者を、宮崎県拠点が推奨・認定するものではありません。



	市町村	事業者	主な品目	サービス内容	ページ
①	延岡市	延岡スカイサービス(株)	水稻	無人ヘリ・ドローンによる防除作業受託	2
②	新富町	AGRIST(株)	ピーマン きゅうり	自動収穫ロボットのレンタル	3
③	西都市 宮崎市	JAみやざき (宮崎中央、西都地区本部)	施設園芸	効率化、事故防止に繋がる重油残量 遠隔監視システム	4
④	宮崎市	テラスマイル(株)	施設園芸	データ分析で事業成長・収支改善支援	5
⑤	宮崎市	(株)アグリプラス	水稻 施設園芸	ドローンによる防除作業受託、遮光剤、 洗浄剤の散布受託	6
⑥	都城市	(株)スカイウォーカー	水稻 かんしょ	ドローンによる防除作業・肥料散布受託	7
⑦	日南市	南那珂無人ヘリ防除 協議会	水稻	無人ヘリ・ドローンによる防除作業受託	8
⑧	串間市	串間市かんしょ 産地対策会議	かんしょ	ドローンによる防除作業受託	9
⑨	日之影町	(株)ひのかげアグリファーム	水稻	ドローン等を活用した農作業受託	10
⑩	五ヶ瀬町	(株)タスクル	水稻	ドローンを活用した農業支援	11

①概要

延岡スカイサービス株式会社

- 1998年、JA延岡青壮年部中心に「延岡地区無人ヘリ防除部会」を組織。令和元年6月、法人化。
- 無人ヘリ2機(うち1機はリース)、ドローン3機(うち1機はリース)を保有。
- JA延岡が建設した倉庫を無人ヘリとドローンの格納庫として借用。
- 2~3人でチームを組み、6月中旬~9月中旬にかけて防除作業。



無人ヘリ



ドローン

②サービス内容・期待される効果等

- 受託内容: 早期・普通期米、水稻WCS、麦の防除
- 受託地域: 延岡市、西臼杵郡、日向市、門川町
- 料金: 4,180円/10a(税込・薬剤費込)
- 作業時
 - ・委託者は申請後、対象ほ場に立て札を立てる。
 - ・周辺住民には、安全対策を講じて防除を行うことを事前告知し、理解を得たうえで実施。

③支援実績等

<令和6年度>

- ・延岡市 : 790ha
- ・西臼杵郡 : 180ha
- ・日向市 : 29ha
- ・門川町 : 9ha



④課題・今後の展開等

- 無人ヘリ・ドローンの本体価格・維持費が高額のため、機械の更新に苦慮。
- オペレーター不足が深刻化しており、事業者・JAともに人手が足りない。季節的な需要の偏りにより、通年雇用が課題。
- 大規模農家の機械化で地元の受託が減少する一方、小規模農家の依頼が増加。受託面積維持のため、熊本・大分などへ広域展開を進めている。

⑤連絡先等

宮崎県延岡市
川原崎町281-1
(平日8:30 ~ 17:00)
TEL: 0982-23-1892
(事務局) JAみやざき延岡地区本部



①概要

AGRIST株式会社

- 設立:2019年10月
- 事業内容
 - ・AI搭載の自動収穫ロボットの開発・レンタル
 - ・農業用ソフトウェアの開発(栽培管理・収穫予測)
 - ・スマート農業パッケージの提供
- ビジョン
 - ・100年先も続く持続可能な農業の実現
- 特徴
 - ・農家の声から生まれた課題解決型スタートアップ
 - ・自社農場での実証・展開による現場密着型開発
- 関連技術
 - ・「AGRIST Ai」: 農業特化型AIによる栽培支援
 - ・「あぐりすたんと」: LINE連携の農業アシストAI
 - ・自動収穫ロボット「L」「Q」などを展開中

②サービス内容・期待される効果等

- AGRIST Ai
 - ・市況予測、収穫量予測、栽培計画支援
 - ・タブレット端末で直観的に操作可能
 - ・AIが最適な栽培管理を提案
- 自動収穫ロボットの導入
 - ・AI画像解析で収穫適期を判断し、自動で収穫
 - ・データ収集による栽培改善と収量向上

③自動収穫ロボット「Q」

- 対象作物:きゅうり
- 移動方式:ハウス内のレール上を自動走行
- 収穫機能:AIカメラできゅうりを認識、収穫適期サイズを判断して自動収穫
- 操作・管理
 - ・タブレット端末で操作・データ確認が可能
 - ・クラウド管理で、収穫データや稼働状況をリアルタイムで把握



【写真提供: AGRIST株式会社】

④今後の展開等

- 2023年農林水産省「中小企業イノベーション創出推進事業」に採択された。今後は、茨城県常総IC周辺の3haの実証農場で、農作業の自動化・効率化のための革新的スマート農業技術・サービスの開発・実証を加速させ、全国展開を推進する。

⑤連絡先等

- 所在地: 宮崎県児湯郡新富町富田南1丁目53-1
(公式HP) <https://agrist.com/>

①概要

JAみやざき(宮崎中央、西都地区本部)

○宮崎中央地区本部・西都地区本部では、令和2年度から、施設園芸ハウスの暖房用重油タンクにセンサを設置し、重油残量を通信回線を利用して集積、分析して、重油の効率的な配送及び漏油リスクの回避。



装置ハウス全景

②サービス内容・期待される効果等

○重油残量は、圧力センサを使い測定。

○データの通信は、西都地区本部はKDDIを利用し1日1回残量を送信。宮崎中央地区本部はNTT西日本を利用し、1時間毎に残量を送信。送信されたデータはクラウドに蓄積され、一元的に管理。配送計画に活用。

○油漏れに繋がる流量異常時には、異常通報あり。

○蓄積されたデータは、地区本部等で使用量・残量等を確認可能。宮崎中央地区本部では、各農家からパソコン、タブレットやスマホ等で確認可能。

○重油タンクに設置するセンサは、専用の電池を電源としており、配線は不要。電池は定期的に変換。
(電池の交換は、機種、通信回数等の違いにより、西都地区本部は5年毎に、宮崎中央地区本部は1年毎に変換。)

③支援実績等

○現在、西都地区本部では全体の8割に設置。残り2割は給油の頻度が少なく設置の必要なし。宮崎中央地区本部は全てのタンクに設置完了。

宮崎中央地区
本部装置西都地区
本部装置

④課題・今後の展開等

○これまでは、農家・職員が重油タンク1つ1つを見回り、残量を確認して補充していたが、集積されたデータを基に計画的に配送することにより、業務の効率化やコストが削減。

○油漏れの探知が可能なことから、油漏れによる重大事故防止に活用。

○集積されたデータを関連情報とリンクすることにより、他の業務に活用が可能。

⑤連絡先等

○宮崎中央地区本部 経済部(0985-89-4663)

○西都地区本部 経済部農自燃料課(0983-43-3113)


①概要

テラスマイル株式会社

○農業を、経営という視点から、デジタルデータを活用して分析するベンチャー企業。農家向けのほか産地（指導員＋農家グループ）の競争力強化にも挑戦。

②サービス内容・期待される効果等

○根幹をなす提供システム

「RightARM」(ライトアーム)は、農家を取り巻く栽培情報、経営情報、販売情報、関連機器情報を集めてデータ加工・分析の仕事を終わらせるコラボレーションハブ。

○農家と指導員の共通ツールとして、農家の利益を最大化したいと願う産地指導者が基盤を導入し、産地農業者を結び付け、システムを統合し、産地農業の形式化を前進。

○大規模農業法人や自治体・JAで基盤を導入し、手軽にスピーディに営農データ統合分析システムを資産化。※補助事業の活用にも対応



システムイメージ



ワークショップ風景

③支援実績等

○宮崎をはじめ南九州で生産者とともにRightARMを開発。2021年から全国展開をスタート。その後3年で全国29都道府県41か所、国内主要29品目で活用。

【導入事例】

○ピーマン生産者グループ約15名で導入し平均反収20%アップ

○普及指導員・JA営農指導員グループで導入しデータ活用人材を育成

○農業法人で導入し従来アナログで行っていた作業（データ収集や判断）を自動化・効率化

④課題・今後の展開等

○急速に進む行政機関での営農データ統合分析システムへのニーズ対応。

○産地（川上）から消費地（川下）まで農産物情報をつなぐプラットフォームの構築、およびGHGや出荷予測など付加価値の高いデータの実装。

⑤連絡先等

（公式HP）<https://terracedmile.jp/>

所在地：宮崎県宮崎市錦本町4-5 ひなたキャンパス2階
電話：0985-65-9196（代表）

宮崎県拠点（令和8年2月）確認

①概要

株式会社アグリプラス

○地域の農家がドローンを手軽に利用できる受け皿として、令和元年に受託組織を設立。

- ・オペレーター:23名(令和7年度)
- ・ドローン保有数:5機

(DJI製 MG-1:2機、T10:1機、T20:1機、T25:1機)
○作業受託のほかに、農業資材の卸売業者と共同で、農業用ドローンの講習会を随時実施。

②サービス内容・期待される効果等

○ドローンによる農薬散布料金

- ・早期水稲:3,300円/10a~3,500円/10a(税込)
- ・かんしょ:23,000円(0.1~1ha未満)、21,990円(10ha以上)※薬剤込み

○ハウス屋根の遮光剤・洗浄剤(汚れ除去剤)の散布料金(ハウスの上からドローンにより散布)

- ・単価:27,000円/10a(税込、薬剤別)

※生産者からは、「作物の色ぼけ改善」「不適合品の減少」など、口コミで評価が拡大。利用者が増加。また、夏場のハウス内の作業者の労働環境の改善にも寄与。



ハウス屋根の散布

③支援実績等

○ドローンによる農薬散布(R7年)

(水稲:約370ha、かんしょ:30ha)

○遮光剤・遮熱剤・洗浄剤の散布(ハウス:5ha)

○ドローン操縦教習会(年10回程度)

・これまでに、40回開催し累計160名が受講。5日間の教習で認定証を交付。国土交通省への認定許可申請時に提示することができる。



かんしょの防除



新機種説明会

④課題・今後の展開等

- ドローンの販売に加え整備・年次点検を実施
- ドローンによる果樹防除の実用化に向け準備中
- 畜舎等への散布作業を調査・研究中

⑤連絡先等

所在地:宮崎県宮崎市大字本郷南方4142

電話:0985-89-4664(代表)

①概要

株式会社スカイウォーカー

- 日本の農業が抱えている農業従事者の高齢化や担い手不足問題などをドローンによるスマート農業サービスを通して解決したいとの思いで、令和元年12月、農業支援サービス事業の会社を設立。
- オペレーター人数:4名(令和7年時点)
- ドローン保有台数:3台(農薬散布用)
- 営業区域:宮崎県(北諸県・西諸県・南那珂地区)鹿児島県大隅半島エリア

②サービス内容・期待される効果等

- 受託内容:ドローンによる肥料・農薬散布代行
- 対象品目
水稲、露地野菜、果樹(みかん、ゆず、くり等)
- 散布代行費用
料金は作業の種類や範囲によって設定。
(最新情報は、公式HPに掲載。)
- 肥料・農薬散布の他に、ドローンスクール、機体販売、資材運搬等の事業を展開中。スクールからこれまでに、延べ120人の卒業生を輩出。
- お客様一人一人を大事に、要望の伺いから見積りまで「端まできっちり丁寧に」をモットーに散布作業を実施。

③支援実績等

- 受託実績(延べ面積):2,562ha(R2年~R7年)
- ※R7年実績:632ha
- 散布対象作物
水稲、かんしょ
さといも、かぼちゃ等



④課題・今後の展開

- 水稲栽培における除草から病害虫防除までの農薬散布を、地区全域でよりきめ細かくサポートするとともに、大型機の導入による果樹等への防除作業にも対応範囲を拡大する。

⑤連絡先等 (公式HP) <https://sky-walker.co.jp/>

所在地:宮崎県都城市平塚町2980-2

電話:0986-51-8823



宮崎県拠点(令和8年1月)作成

①概要

南那珂無人ヘリ防除協議会

○損害防止事業の一環で無人ヘリによる防除を導入。高齢化、担い手不足への対処として、平成18年から協議会による取組を開始し、南那珂地区内(日南市・串間市)の水稻の基幹防除を受託。

○事務局:NOSAI宮崎南那珂センター

○防除作業は、地元の若手農家により構成された防除受託組合に委託

(作業委託先:防除受託組合、Ks' AIR)

②サービス内容・期待される効果等

○対象とする生産者

南那珂地区内(日南市・串間市)の水稻生産者

○作業内容

早期米、普通期米等水稻の基幹防除。

周辺環境を考慮しながら無人ヘリとドローンを使い分けて防除を実施。

○所有機器

・無人ヘリ:4機(リース)、2機(受託組合所有)

・ドローン:3機(NOSAI宮崎所有)

○作業料金(無人ヘリ・ドローン共通)

1回目:4,000円/10a(いもち、紋枯れ、殺虫)

2回目:3,500円/10a(殺虫のみ)

(南那珂地区内の生産者ほぼ全域受託可能)

③支援実績等

○作業実施面積(令和7年度)

日南市:約382ha 串間市:約524ha

○近所に民家無くまとまった広いほ場では無人ヘリを使用し、近所に民家があるほ場ではドローンを使用した。



無人ヘリ、ドローンによる薬剤散布の様子

④今後の展開等

○時代の流れと生産者のニーズに合った防除体制の確立。

○水稻生産者減少に伴う、散布面積の減少時への対応。

⑤連絡先等 (事務局) NOSAI宮崎南那珂センター

所在地:宮崎県日南市南郷町谷之口1493-1

電話:0987-21-9171(代表)

宮崎県拠点(令和8年2月)確認

①概要

串間市かんしょ産地対策会議

○青果用かんしょの産地である串間市では、近年「サツマイモ基腐病」による甚大な被害を受けており、県、串間市、JA、農業法人等が参画し、令和元年7月、「串間市かんしょ産地対策会議」を設立。

○同会議は、防除体制の強化と防除効果の確立を図るため、若手生産農家を中心に「ドローン防除受託組合」を設立し、活動を支援。



ドローン防除受託組合

②サービス内容・期待される効果等

○防除受託組合では、JAと連携し、串間市全域のかんしょ生産者からほ場の防除作業を受託。

- ▶ オペレーター 9名（若手生産者）
- ▶ ドローン 5機（内リース1機）

○生産現場では、労働力の軽減や生産性の向上（病害虫被害の抑制）に繋がることが確認できた。

○委託した農家からは、広域防除による効果等もあり好評を得ており、今後も防除委託の増加が見込まれる。

③支援実績等

○受託面積（農薬散布面積）（令和6年度）
実面積：335ha 延面積：450ha



ドローンによるかんしょほ場の農薬散布

④課題・今後の展開等

○ドローン防除体制によるほ場の一斉防除や、効果検証を引き続き実施し、被害を抑制することで農家所得の向上につなげる。



串間市かんしょ産地対策会議

⑤連絡先等

窓口：宮崎県串間市農業振興課
電話：0987-72-1111（代表）

①概要

株式会社ひのかげアグリファーム

- 2016年10月設立、自治体出資型株式会社
- 従業員
 - ・常勤雇用:6名(21歳~49歳)
 - ・パート雇用:14名
- 保有する機械
 - ・ドローン2台・コンバイン4台
 - ・トラクタ2台・ハンマーナイフモア2台
- 2017年4月サービス開始
- 日之影町内全域

②サービス内容・期待される効果等

- 水稲防除サービス
 - ・作業料金:4,000円/10a・作業時間:約30分/ha

○農作業受託サービス

- ・田植え
- ・米収穫作業
- ・耕作放棄地等除草
- ・樹園地下刈

○期待される効果

- ・地域の農地保全。
- ・高齢農業者の労働力軽減。



ドローン防除作業

③支援実績等

- 令和4年度は約117ha実施。
(内水稲ドローン防除70ha)



ハンマーナイフモア作業

④課題・今後の展開等

○課題

- ・地域の高齢化により作業受託依頼が増加し、作業を担う労働力不足。

○今後の展開

- ・果樹栽培(栗・柚子)急傾斜地における防除作業を検討

○サービス利用者の声

- ・高低差の激しい土地で、あっちこっち散らばる田での米作りは容易ではない。水稲全作業を担っていただき、心から感謝している。



WCS刈取り作業

⑤連絡先等

- 所在地:宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折2610-11
- 電話:0982-73-8030(平日8:00~17:00)

①概要

株式会社タスクル

○経緯及び社名の由来

佐伯代表自身の出身地である五ヶ瀬町は、高齢化による離農が年々増加。若い世代も少なく、働く場もない状況。

高齢農家が長く農業継続できるように、農作業を支援し、地域を「助くる」との思いから、社名を「タスクル」とし、活動を始めた。

○起業年：令和5年1月

○従業員：代表1名、アルバイト3名



③支援実績等

○支援地域

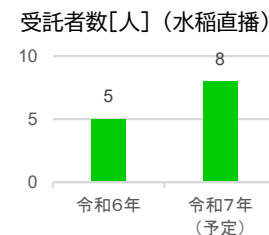
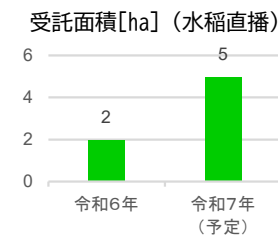
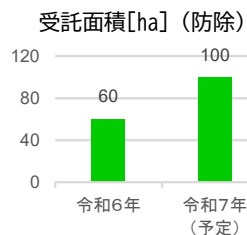
・五ヶ瀬町から高千穂町まで

○対象作物

・主食用米、WCS

右写真のようなほ場では、大型の機械が使えない。

小型ドローンによる直播が有効。



②サービス内容・期待される効果等

①防除代行サービス

・作業料金：3,000円/10a (農薬代含まない)

②水稻直播

・作業料金：約15,000円/10a (浸種催芽処理、鉄コーティング播種、除草剤代込み)

目視外飛行となるようなほ場で、ドローン等を運用する場合、オペレーターの補助員の配置が原則必要。

中山間地域では小型のドローンが重宝される。

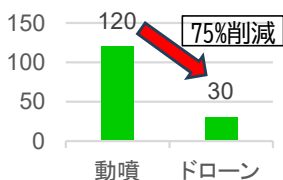
鉄粉コーティングで、種子を重くし、播種を安定させ、発芽率の向上を図る。



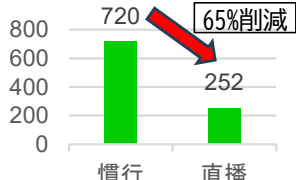
ドローンによる水稻直播



①作業時間[分/ha] (防除)



②作業時間[分] (水稻直播)



☆ドローンの活用で防除75%、直播65%の作業時間削減を実現

④課題・今後の展開等

○課題と要望

- ・高齢化に伴い受託作業は増加。しかし、人材の確保が困難。
- ・小型ドローンはバッテリー容量が小さく、稼働時間が短い。
- ・夏場の酷使で充電回数が増加。バッテリーの寿命が縮まる。
- ・機器更新に高額な費用がかかる。
- ・バッテリーの規格統一によるコスト削減と運用効率化を望む。

○今後の展開

・急傾斜地や人が入りにくい耕作放棄地等の除草作業の受託。

○利用者の声(きゅうりと米の生産者)

・防除作業をタスクルに委託したことで、きゅうりと米を両立した生産が可能となり、水田の維持と収益安定に繋がっている。

⑤連絡先等

所在地：熊本県上益城郡山都町柳井原671-3

電話：090-3660-1314



代表：佐伯 貴和

※データはすべてタスクルが独自に収集・分析したものです。 宮崎県拠点(令和7年7月)作成

発行：九州農政局宮崎県拠点
編集：地方参事官室



〒880-0801 宮崎市老松2丁目3番17号
Tel:0985-24-2365(代表)
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/miyazaki/index.html>